

平成28年度事業報告

I. 活動概況

平成28年度は、最重要課題として位置付けた「東日本大震災からの復興の加速化に向けた取り組み」のほか、「東日本大震災後の『新しい東北』の創生に向けた取り組み」、「創立50周年を節目とした地域・会員のさらなる満足度向上に資する事業運営」の3点を事業方針に据えるとともに、①「東日本大震災からの復興・創生の実現」、②「ILC等、加速器関連プロジェクトの実現による先端的研究機関・産業の集積促進」、③「東北における基幹産業化に向けた観光の振興」、④「『東経連ビジネスセンター』等によるさらなる地域産業・企業の競争力強化」、⑤「持続可能な地域社会の実現に向けた『S+3E』への着実な対応」、⑥「海外との経済交流の推進・拡大」、⑦「連携・交流・発展の基盤となる基礎的社会資本の整備促進」、⑧「地方創生に資する広域連携の推進」の8点を取り組むべき重点活動として、各事業を強力かつ積極的に展開した。

とりわけ、最重点課題である「東日本大震災からの復興の加速化に向けた取り組み」については、「平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算に関する東経連の要望」を行い、政府関係機関等へ要望活動を行うとともに、被災地域の状況把握及び調査・情報発信活動、復旧・復興支援活動などに取り組んだ。

また、「東日本大震災後の『新しい東北』の創生に向けた取り組み」については、「地域産業の競争力強化」、「東アジア経済圏との連携強化」、「地域の持続的発展のための基盤整備」を実現すべく、国際リニアコライダー（ILC）や東北放射光施設などの加速器関連プロジェクトの誘致と加速器関連産業の育成・集積、東北海外展開加速化協議会と連携した取り組みや、東北産を中心とした農産物輸出実証事業等、東北ブランドの確立に向けた情報発信や海外からの誘客促進などに取り組んだ。

「創立50周年を節目とした地域・会員のさらなる満足度向上に資する事業運営」では、創立から半世紀の節目を迎え、これまでお力添えいただいた関係各位に感謝の意を表し、次の新しい一歩を踏み出すべく、国内外の皆様方をお招きした記念式典や記念イベントを開催したほか、2030年に向けた東経連新ビジョン「わきたつ東北-結び、はぐくみ、未来をひらく-」を策定・発表した。また、地域・会員ニーズに即した政策の提案、実施に係わる活動や効果的な情報発信等に向け、各委員会が有する調査研究機能や情報発信機能の強化に取り組んだ他、東北各県において地域懇談会や地区会員懇談会を開催した。さらに、会員サービスの向上を図るため、各委員会においてそれぞれのテーマに基づいた視察会等を開催するなど、組織運営・事業推進体制の充実・強化に取り組んだ。

Ⅱ. 各重点活動の主な取り組み

重点活動1：東日本大震災からの復興・創生の実現

1. 復興の加速化に資する取り組み

(1) 要望活動の実施

①平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算に関する東経連の要望

(平成28年6月16日)

平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算の編成に向け、東北地域の重点事項3つ(①東北復興への施策の強化・継続、②加速器関連産業の東北への集積、③「新しい東北」の実現に向けた諸施策の推進)について要望活動を実施した。

【要望先】高木 毅 復興大臣、高村正彦 自由民主党副総裁、
稲田朋美 自由民主党政務調査会長、
ほか各省庁、東北7県選出国會議員など

(2) 被災地域等の現状把握及び情報発信

①エネルギー環境委員会・東日本大震災復興対策委員会合同視察会

(平成28年7月29日:大熊町、会員など17名参加)

福島県の現状把握や復興に向けた機運の醸成を目的に、視察会を実施した。

【視察先】

- ・東京電力福島第一原子力発電所
…汚染水の浄化設備や凍土遮水壁設備を視察した。

②第49回東北地方経済懇談会における視察

(平成28年9月8日～9日:大熊町・双葉町・山元町・仙台市、約50名参加)

東日本大震災からの復旧・復興に向けて取り組んでいる状況について、日本経済団体連合会と共同で視察会を実施した。

【視察先】

- ・東京電力福島第一原子力発電所
…免震重要棟、構内等を回り、廃炉に向けた取り組み等を視察した。
- ・農業生産法人(株)GRA
…東日本大震災の津波により被災したイチゴ農家と協力し、単なる生産の復旧ではなく、高品質・高付加価値型のイチゴ生産に向けた取り組みを視察した。
- ・東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
…被災地における医療復興、スーパーコンピューター等を使ったバイオバンク・ゲノム解析等を通じた東北発の予防医療の実現、創薬研究等の次世代医療体制の構築及び新しい産業創出に向けた取り組み等を視察した。

③東日本大震災 BCM 視察会の開催（東日本大震災復興対策委員会と観光文化委員会の合同）

（平成28年11月1日～2日：女川町・石巻市・南三陸町・大船渡市、22名参加）

東日本大震災から5年以上が経過し、震災の記憶風化も懸念される中で、改めて復興の現場の状況と課題について理解を深めるとともに、被災企業の事業復興の取り組みから BCM（事業継続マネジメント）への知見を深めるべく視察会を開催した。

【視察先】

- ・女川町
…大きな津波被害を受けた女川町の復興まちづくりの取り組みを視察した。
- ・(株)鮮冷
…水産業を基幹産業として発展してきた女川町における水産業の復興への取り組みを視察した。
- ・日本製紙(株)石巻工場
…津波の直撃で甚大な被害を受けながら、半年で操業を再開、1年半後には完全復興を果たした同社石巻工場の取り組みを視察した。
- ・南三陸ホテル観洋
…自らの旅館も被害を受けながら、町民など震災避難者等の受け入れを行い、その後も震災経験を伝える語り部バスの運行など南三陸町の震災復興に大きな貢献を果たしている同社の取り組みを視察した。
- ・(株)マイヤ
…迅速・的確な避難誘導で一人の犠牲者も出さず、震災当日も可能な店舗では営業を継続するなど地域の暮らしを支えるライフラインとして大きな役割を果たした同社の取り組みを視察した。
- ・酔仙酒造(株)
…東日本大震災で壊滅的な被害を受けながら、平成23年10月には販売を再開、平成24年8月には大船渡市に新工場を完成させるなど周囲が驚くスピードで復興を成し遂げた同社の取り組みを視察した。

(3) 復旧・復興支援活動の実施

①フォーラム「がんばろう！東北」（平成28年7月21日：青森市、会員など約550名参加）

東北地域の復興に不可欠な社会資本の早期復旧・復興や、大震災を踏まえた今後の社会資本整備のあり方等を訴えるため、フォーラムを開催するとともに、政府等の関係機関への要望活動を実施した。

【基調講演】

- ・演題：「災害列島日本 大地動乱の時代に必要な備え」
講師： CeMI 環境・防災研究所副所長 松尾一郎氏

【要望活動】（平成28年7月29日）

- ・要望書「東北における社会資本整備の重点的推進に関する提言」
- ・要望先：細田博之 自由民主党幹事長代行、武藤 浩 国土交通省事務次官、財務省

②「買おう！東北」運動等の取り組み

域内外に東北の地域製品の購入を促す「買おう！東北」運動をさらに広げるため、東北地域のメーカーと全国のバイヤーとのマッチングを促すサイト「東北いいネット」の運用強化に取り組

んだ。また、東経連ビジネスセンターに登録するセールス支援チームが、「AKOMEYA TOKYO」の期間限定ショップ（JR 新宿駅ルミネ新南口店）での支援企業の委託販売支援を行ったほか、「G7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議歓迎レセプション」で支援企業の製品を世界へ発信するなど、力強く復興する東北の姿をアピールした。

【買おう東北】掲載数 232 社

【東北いいネット】登録企業 301 社、登録商品 331 品（いずれも平成29年3月現在）

（４）調査活動の実施

①企業経営に関するアンケート調査

（第77回調査：平成28年4月実施・5月公表、第78回：平成28年10月実施・11月公表）

東北地域の景気動向と企業経営の実態のほか、東日本大震災から5年が経過したことから、会員企業の生産・売上水準回復の障害となっていることや望ましい為替レートなどについて調査し、結果をとりまとめた。

・第77回調査：発送社数 285 社、回答社数 210 社、回答率 73.7%

・第78回調査：発送社数 288 社、回答社数 212 社、回答率 73.6%

②東北の景気動向調査の実施（毎月公表）

各種経済指標の分析やヒアリング等により、東北の景気動向を調査し、結果をとりまとめた。

③北海道新幹線開業による事業への影響に関するアンケート調査（平成29年3月公表）

北海道経済連合会と共同で、北海道新幹線開業前後における東北・北海道間にビジネス交流や観光に関する企業・個人の動向および考え方の変化を把握し、今後の東北・北海道間での事業展開や経済交流の拡大に結びつけることを目的に、当会および北海道経済連合会の会員を対象に実施した。

重点活動2：ILC等、加速器関連プロジェクトの実現による先端的研究機関・産業の集積促進

1. 「国際リニアコライダー(ILC)」の東北誘致実現に向けた取り組み

（１）誘致に向けた活動の強化

①東北 ILC 推進協議会と連携した取り組み

ILCの日本・北上地域への誘致実現に向けて、「東北 ILC 推進協議会」との連携により、政府等関係機関への要望活動を実施したほか、機運を高めるための全国及び域内への普及啓発活動に取り組んだ。また、政府の ILC 誘致決定に備え、東北 ILC 推進協議会の中に、東北地域の産学官民が密接に連携した、「東北 ILC 準備室」を設置するにあたり、これを支援するとともに地域の受入体制の準備をはじめ、地域と日本の成長に資する方策の検討に協力した。

■平成28年度総会・特別講演（平成28年6月14日：仙台市、会員など約130名参加）

・演題：「ILCに関する最新の状況について」

講師：東京大学素粒子物理国際研究センター特任教授

山下 了 氏

■SSH（スーパーサイエンスハイスクール）でのILC講演会の開催

ILC 計画の理解促進を図るため、次世代を担う東北のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）等を対象に、科学技術に対する体系的な講義を行い、中高生に対する理解促進と科学に対する好奇心喚起に努めた。

【磐城高等学校】（平成28年6月16日：いわき市、約80名参加）

・演題：「宇宙誕生の謎に迫る国際リニアコライダー」

講師：東北大学大学院理学研究科物理学専攻准教授 佐貫 智行氏

【札幌西高等学校】（平成28年10月5日：札幌市、約190名参加）

・演題：「宇宙の謎を解く最先端科学」

講師：東京大学素粒子物理国際センター特任教授 山下 了氏

【仙台青陵中等教育学校】（平成28年10月18日：仙台市、約420名参加）

・演題：「宇宙誕生の謎に迫る国際リニアコライダー」

講師：東北大学大学院理学研究科物理学専攻准教授 佐貫 智行氏

【山形西高等学校】（平成28年11月1日：山形市、約260名参加）

・演題：「宇宙の謎に迫る国際リニアコライダー」

講師：岩手大学理工学部物理・材料理工学科教授 成田 晋也氏

■サイエンスデイでのILC体験ブースの出演

（平成28年7月17日：仙台市、約1,000名来場）

ILCの解説パネルや建設地のジオラマなどを展示するほか、子供向けにILCカルタや実験イベント等を行い、来場者にILCの意義・研究内容・建設地の特徴をアピールした。

・体験ブース：「みらいをひらく ILC 世界最先端の研究所がやってくる！」

■地域が誇るすごいもの展～東北・新潟の魅力を再発見～での支援企業ブースの展示

（平成29年1月11日～15日：仙台市、7,239名来場）

東経連ビジネスセンター、(公財)東北活性化研究センター、東北電力(株)と共同で開催し、地域の方々に東北・新潟の世界に発信できる優れた技術・企業を認識頂くことを目的に開催した。(公財)東北活性化研究センターと連携し、東経連ビジネスセンターの過去支援企業などの商品を東北7県からそれぞれ展示した。

また、最終日には東北ILC推進協議会と連携し、サイエンスデイで人気を博したILCカルタやILC紙芝居、霧箱実験などの子ども向けのイベントを開催し、約70名に参加頂いた。

■G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催記念シンポジウムの開催

（平成28年5月21日：仙台市、約300名来場）

2016G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議推進協力委員会、東経連ビジネスセンター、東北ILC推進協議会と共催で、シンポジウム「国際リニアコライダーと東北の創造的復興」を開催した。

【基調講演】

・演題：「国際リニアコライダーと新しい東北の創生」

講師：早稲田大学特命教授 伊藤 滋氏

【パネルディスカッション】

- ・テーマ：「国際リニアコライダーと東北の創造的復興」

| | |
|----------------------------|-----------|
| パネリスト：東北大学大学院経済学研究科教授 | 大 滝 精 一 氏 |
| 東北大学災害科学国際研究所副所長 | 奥 村 誠 氏 |
| 東北大学大学院理学研究科准教授 | 佐 貫 智 行 氏 |
| 東北大学キャンパスデザイナー | 小 貫 勅 子 氏 |
| (株)千田精密工業取締役 | 千 田 ゆきえ 氏 |
| コーディネーター：(一社)東北経済連合会産業経済部長 | 西 山 英 作 |

■G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議歓迎レセプションでのブース出展

(平成28年5月19日：仙台市、レセプション来場者708名【うち会議関係者544名】)

東北ILC推進協議会と東経連ビジネスセンターは、同レセプション参加の国内外のプレス関係者と招待者に対して、国際共同科学プロジェクト「国際リニアコライダー(ILC)」とビジネスセンターの支援企業紹介のブースを設置、新たな段階を迎えた東北復興への取り組みと、力強く復興する東北企業を紹介した。

■国際リニアコライダー (ILC) の日本誘致に関する要望 (平成28年9月7日)

東北復興のシンボルとして、また、ILCを核とした国際学術研究都市の形成や加速器関連産業の育成、集積などによる新しい東北づくりにとって重要なテーマとなるILCの日本・北上地域への誘致実現に向けて「東北ILC推進協議会」との連携により政府など関係機関への要望活動を実施した。

【主な要望先】

- ・水落敏栄 文部科学副大臣
- 細田博之 自由民主党総務会長
- 河村建夫 リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟会長
- 塩谷 立 リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟幹事長

■ILCパンフレットの作成 (平成28年10月、12月)

ILC計画に対する理解促進を図るため、ILC計画の概要や日本・北上地域への誘致実現の意義、国際学術研究都市の形成や加速器関連産業の育成、集積をはじめとする波及効果等を主な内容としたパンフレットを作成し、広く一般に配布した。(作成部数3,000部)

■国際学会「IEEE」でのブース出展

(平成28年11月1日～3日：フランス・ストラスブール市、約1,000名来場)

岩手県、岩手県ILC推進協議会と協力し、世界最大級の電気工学・電子工学技術の国際学会「IEEE」主催の展示会に出展、ILCの製造に関する技術を持つ東北企業のポテンシャルの高さや東北のILC誘致にかける熱意を世界に向けて発信した。

■視察会の実施（平成28年11月22日：奥州市・一関市、29名参加）

ILC 東北誘致の機運の醸成と ILC 建設についての理解を深めるため、ILC の建設候補地である北上サイトの視察会を開催した。

【視察先】

- ・奥州市街地
…JR 水沢江刺駅構内の ILC コーナーを視察した後、バスの車窓から奥州市街地を視察した。
- ・奥州宇宙遊学館、国立天文台 水沢
…4次元デジタル宇宙シアターを視聴した後、天文学や奥州宇宙遊学館の前身である緯度観測所に関する展示や ILC の展示物を視察した。また、隣接する国立天文台の直径20mの巨大電波望遠鏡も併せて視察した。
- ・室根山山頂
…山頂から ILC 建設候補地の全景を視察した。
- ・国土交通省一関防災センター北上川学習交流館「あいぽーと」
…航空写真による ILC 建設候補地の位置確認や展望室からの視察を行った。

■活動報告会の実施（平成28年12月16日：仙台市、130名出席）

東北 ILC 準備室が主催し、室長である鈴木厚人岩手県立大学学長から取り組みの検討状況などが報告された。

■サイエンス×ハローキティ・プロジェクトへの協力

先端加速器科学技術推進協議会（AAA）が、難解な素粒子物理学の世界を、ハローキティとのコラボレーションを通じて多くの方々に関心を持っていただくための「サイエンス×ハローキティ・プロジェクト」に協力した。本プロジェクトは平成28年夏から開始し、ハローキティが望遠鏡をモチーフにした ILC の装置に乗って、宇宙の謎を解こうとする姿をイメージしており、仙台国際センターにて展示を行った他、グッズの販売による収益の一部は ILC の誘致活動に充てられている。

2. 加速器関連産業の集積促進に向けた取り組み

（1）誘致に向けた取り組みの強化

①先進事例調査の実施

ILC、東北放射光施設などの加速器関連プロジェクトの実現及び加速器関連産業の育成、集積に向けた事業を実施したほか、イノベーション創出に向けた先進事例調査を実施した。

■視察会の実施（平成28年8月24日：台湾新竹市、8名参加）

【視察先】

- ・台湾放射光施設（TPS：Taiwan Photon Source）
…東北放射光施設の先行事例として、当該施設内部を視察し、その後、周辺の研究施設ならびに企業の集積状況を確認した。

②一般財団法人「光科学イノベーションセンター」の設立発起人会の開催

(平成28年12月21日：東京都、30名出席)

東北放射光施設の建設・運営主体となる、一般財団法人「光科学イノベーションセンター」の発起人会を開催し、財団の代表理事として、東北大学総長特別補佐の高田昌樹教授を選出した。

③一般財団法人「光科学イノベーションセンター」の設立総会・講演会の開催

(平成29年2月15日：仙台市、120名出席)

・演題：「光科学とイノベーション」

講師：特定国立研究開発法人 理化学研究所
放射光科学総合研究センター長

石川 哲也氏

重点活動3：東北における基幹産業化に向けた観光の振興

1. インバウンド促進に向けた取り組み

(1) 国内外からのクルーズ船誘致に向けた活動

①クルーズ船社キーパーソンとの東北の港湾視察会の実施

インバウンドの拡大の柱の一つ、「クルーズ船誘致」について、平成28年度観光庁「ビジット・ジャパン地方連携事業」の一環として、世界最大のクルーズ船社「カーニバル・コーポレーション」の港湾部門キーパーソン等を東北へ招請し、3県4港の東北港湾や港湾周辺の観光地等を視察した。

【勉強会の実施】

・外客クルーズ船社日本支社幹部と勉強会を行った。

(平成28年5月27日、11月16日)

【視察会の実施】

・外客クルーズ船社日本支社幹部と石巻港・塩竈港を視察した。

(平成28年10月3日、11日)

・カーニバル・コーポレーションの港湾部門キーパーソンと石巻港・仙台港・酒田港・新潟東港ならびに各港の周辺施設の視察を実施した。(平成28年10月16日～19日)

・外客クルーズ船社日本オフィス幹部と青森港ならびに周辺施設を視察した。

(平成29年2月17日)

②大型クルーズ船誘致のためのパンフレット「Cruise to Tohoku」改訂版の作成

(平成29年2月)

平成28年度観光庁「ビジット・ジャパン地方創生事業」により東北運輸局、東北観光推進機構と共同で、東北港湾の機能・設備や東北観光の魅力等を紹介する英語版パンフレット「Cruise to Tohoku」(改訂版)を作成した。

③シートレード・クルーズ・グローバル2017への出展

(平成29年3月13日～16日：アメリカ・フロリダ州)

各国のクルーズ会社の経営者等が一堂に会する世界最大のクルーズ・コンベンション「シートレード・クルーズ・グローバル2017」に前年に続き出展した。当会からは、小野常務理事他が出席しアジア・クルーズを催行・計画している船社に対して、東北港湾への寄港クルーズ造成の働きかけ等を行った。

(2) MICE：海外からの企業旅行や国際会議等の誘致に向けた活動

日本企業2社のインセンティブツアー（報奨旅行）が実施され、国際機関と連携・支援した。

【企業旅行】

- ・丸紅台湾：約90名で3泊4日に亘り山形・宮城両県に宿泊（平成28年11月）
- ・上海三井物産：約70名で3泊4日に亘り福島・宮城両県に宿泊（平成28年11月）

2. 観光の基幹産業に向けた取り組み

(1) 東北官民トップによる「台湾トップセールス」への参加

(平成28年8月23日：台湾台北市)

東北観光推進機構の主催で開催され、東北からは、同機構の清野会長（JR東日本会長）をはじめ、青森、岩手、宮城、秋田、山形の各県知事と福島、新潟県の副知事、仙台市長、当会海輪会長などの各団体トップが出席した。台湾の観光・旅行団体や航空会社のトップならびに政府関係者との交流・懇談を通じて東北への誘客PRを行うとともに、東日本大震災への支援に対する感謝の意を表した。

(2) 質の高い文化体験プログラムを活用した情報発信（平成28年10月11日、18日）

社寺・仏閣にスポットを当てて、中尊寺・出羽三山神社・大崎八幡宮・瑞巖寺・塩竈神社を訪問し、外国人向けの特別プログラムについて意見交換をした他、外客船社日本支社幹部等が出羽三山神社で祈祷・舞い等の体験を実施した。

3. 復興ツーリズムの推進

(1) 東日本大震災 BCM 視察会の開催（東日本大震災復興対策委員会と観光文化委員会の合同）

(平成28年11月1日～2日：女川町・石巻市・南三陸町・大船渡市、22名参加)

東日本大震災から5年以上が経過し、震災の記憶風化も懸念される中で、改めて復興の現場の状況と課題について理解を深めるとともに、被災企業の事業復興の取り組みから BCM（事業継続マネジメント）への知見を深めるべく視察会を開催した。

【視察先】

- ・女川町
…大きな津波被害を受けた女川町の復興まちづくりの取り組みを視察した。
- ・(株)鮮冷
…水産業を基幹産業として発展してきた女川町における水産業の復興への取り組みを視察した。
- ・日本製紙(株)石巻工場
…津波の直撃で甚大な被害を受けながら、半年で操業を再開、1年半後には完全復興を果たした同社石巻工場の取り組みを視察した。

- 南三陸ホテル観洋
…自らの旅館も被害を受けながら、町民など震災避難者等の受け入れを行い、その後も震災経験を伝える語り部バスの運行など南三陸町の震災復興に大きな貢献を果している同社の取り組みを視察した。
- (株)マイヤ
…迅速・的確な避難誘導で一人の犠牲者も出さず、震災当日も可能な店舗では営業を継続するなど地域の暮らしを支えるライフラインとして大きな役割を果たした同社の取り組みを視察した。
- 酔仙酒造(株)
…東日本大震災で壊滅的な被害を受けながら、平成23年10月には販売を再開、平成24年8月には大船渡市に新工場を完成させるなど周囲が驚くスピードで復興を成し遂げた同社の取り組みを視察した。

4. 「平昌 2018 オリンピック・パラリンピック競技大会」の事前合宿受け入れ提案を通じた交流人口の拡大等に資する取り組み

(1) 「東北地域における事前合宿の受入可能な競技施設一覧 (Pre-games Training Camp Facilities)」の作成 (平成29年2月)

東北6県および新潟県の協力のもと、各県内の市町村にて受け入れ可能な競技施設の一覧(主に全国大会以上の開催実績を持つ、21市町村の延べ56施設)を取りまとめた英文資料を作成し、国際機関へ情報提供した。

(2) 世界トップチームに対する提案 (平成29年2月17日、18日)

「2017 国際スキー連盟 (FIS) 主催 フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会」の会場にて、世界トップチームのヘッドコーチに対し、「平昌 2018 オリンピック・パラリンピック競技大会」(以下、平昌大会)の事前合宿地の受け入れに向けて、東北6県および新潟県に協力いただき、各県内の市町村にて受け入れ可能な競技施設一覧(主に全国大会以上の実績を持つ施設)をもとに提案した。

(3) 外務省と連携した各国オリンピック委員会に対する提案 (平成29年2月24日)

外務省の在外公館を通じて、冬季競技が盛んな約30カ国超のオリンピック委員会及び傘下の競技連盟に対して、平昌大会前の事前合宿の受け入れに向けて、東北6県および新潟県に協力いただき、各県内の市町村にて受け入れ可能な競技施設一覧(主に全国大会以上の実績を持つ施設)をもとに提案した。

重点活動4: 「東経連ビジネスセンター」等によるさらなる地域産業・企業の競争力強化

1. 「東経連ビジネスセンター」の活動による地域産業の成長支援

(1) マーケティング・成長戦略支援事業

マーケティング、知的財産、セールス、ファイナンス分野のハイレベルな専門家により、成長志向のある技術力の高い中堅・中小ベンチャー企業の新製品・新商品・新サービスの事業化を戦略的かつ実践的に支援した。

- 平成27年度支援採択企業数(公表)3社、総支援採択企業数33社

(平成29年3月末日現在)

(2) セールス・マッチング支援事業の実施

マーケティング・セールス戦略、産学連携等の支援を施した完成品、東北いいネット登録製品の国内外に対するセールス（出口）を支援した。

- ・平成28年度採択件数（公表）5件、総助成採択件数5件（平成29年3月末日現在）

(3) 新事業開発・アライアンス（販売提携、共同開発など）助成事業の実施

東北地域の企業の競争力を強化することを目的に、新技術の開発に向けて、東北の企業が産学連携または産産連携により取り組む共同開発に対して助成を行った。

- ・平成28年度採択件数（公表）10件、総助成採択件数52件（平成29年3月末日現在）

(4) ILC・加速器産業参入支援事業

ILC や東北放射光をはじめとした加速器産業への東北6県および新潟県企業の参入のため、セミナーの開催や、eEXPO に構築している「バーチャル共同受注体」への登録企業に対する、加速器関連情報や大企業からの発注情報などの提供を行った。

【セミナー】

（平成29年11月7日：仙台市、約50名参加）

- | | |
|--------------------------|-------|
| ・講師：高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 早野仁司氏 |
| 高エネルギー加速器研究機構(KEK)准教授 | 平木雅彦氏 |

（平成29年11月25日：八戸市、約30名参加）

- | | |
|--------------------------|-------|
| ・講師：高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 山中将氏 |
| 高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 早野仁司氏 |

（平成29年1月20日：郡山市、約40名参加）

- | | |
|----------------------|-------|
| ・講師：東北大学・岩手大学 客員教授 | 吉岡正和氏 |
| 高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 山中将氏 |

(5) 先端的な自動車関連産業の集積促進（「東北地域の車を考える会」の開催）

自動車関連産業の育成と集積を促進するため、東北地域の企業・研究者が次世代の自動車づくりに活用できるデバイスや生産技術を完成車メーカーに提案する「東北地域の車を考える会」を開催した。

- ・平成28年度4回開催（別途、「地域版車を考える会」を4回開催）
- ・完成車メーカーに対するプレゼンテーション社数34社
（うち、「地域版車を考える会」13社）

(6) グローバル・ビジネス支援事業の実施

①中国青島・日本東北企業商談会【第5回】

（平成28年7月12日～15日：中国青島、約50名参加）

中国国際貿易促進委員会青島市分会(青島国貿促)との経済協力協定に基づき、農水産品生産の一大拠点である山東省の食品加工業、食品加工機械・部品メーカー等と日本東北企業との商談会を行った。(株)七十七銀行との共催により東北域内から10社にご参加いただき、出展各社が自社製品のプレゼンテーションを実施後、個別商談に入り計45件の商談が行われた。

②シンガポール人デザイナーとのコラボレーションによる東北市域の雑貨・工芸品の海外展開支援
シンガポール人デザイナー・起業家のエドウィン・ロウ氏とコラボレーションした、シンガポールにおける東北の雑貨・工芸品のテストマーケティング事業を開始した。平成28年1月に企業選定会を実施、製品のデザイン・価格等をシンガポール向けに調整すること等に取り組んだ。

(7) Web 事業の強化

東北企業のセールスや商談活動を支援するため、Web 事業の充実・強化を図るとともに、企業等による活用促進に取り組んだ。

【買おう東北】掲載数232社

【東北いいネット】登録企業301社、登録商品331品(いずれも平成29年3月末日現在)

(8) 支援企業の情報発信

①地域が誇るすごいもの展～東北・新潟の魅力を再発見～での支援企業ブースの展示

(平成29年1月11日～15日：仙台市、7, 239名来場)

東経連ビジネスセンター、(公財)東北活性化研究センター、東北電力(株)と共同で開催し、地域の方々に東北・新潟の世界に発信できる優れた技術・企業を認識頂くことを目的に開催した。(公財)東北活性化研究センターと連携し、東経連ビジネスセンターの過去支援企業などの商品を東北7県からそれぞれ展示した。

また、最終日には東北 ILC 推進協議会と連携し、サイエンスデーで人気を博した ILC カルタや ILC 紙芝居、霧箱実験などの子ども向けのイベントを開催し、約70名に参加頂いた。

2. 地域イノベーションの創出に向けた取り組み

(1) 経済財政白書説明会の開催(平成28年9月23日：仙台市、会員など約80名出席)

経済情勢の把握や政策課題を理解し、今後の事業活動に資するべく開催した。

・テーマ：「日本経済の現状と今後の展望」～リスクを越えて好循環の確立へ～

講師：内閣府政策統括官(経済財政分析担当) 付参事官(総括担当) 付上席政策調査員
安井洋輔氏

3. 地域や企業の競争力強化に向けた一次産業の活性化促進

(1) 経済政策委員会・産業政策委員会合同視察会の開催

(平成28年10月17日：山元町・亘理町、会員36名参加)

TPP 発効の動きを踏まえて、農業で6次産業化など「攻め」の経営に取り組んでいる企業を訪問し、今後の事業活動に資するべく開催した。

【視察先】

・農業生産法人(株)GRA

…東日本大震災による津波で被災した地元いちご農家と協力しながら、単なる生産の復旧ではなく、高品質・高付加価値型の生産への取り組みを視察した。

・舞台アグリイノベーション(株)

…お米の低温保管、低温精米、低温包装を行うトータルコールド製法や低温倉庫による保管方法、納品された玄米の検査体制である全ロット検査体制などについて視察した。

(2) 第1回産業政策委員会の開催（平成28年12月7日：仙台市、会員など18名出席）

・演題：「東北の魅力と外国人研究者をターゲットとした誘客戦略を考える」

講師：岩手県海外情報発信員

和山アマンダ氏

JAPAN TRAVEL 宮城地域パートナー

ベルガス・ジャスティン氏

HASEKURA 2.0 代表理事

レナータ・ピアザ氏

(3) 第2回産業政策委員会の開催（平成29年3月1日：仙台市、会員など15名出席）

・演題：「福島イノベーション・コースト構想について」

講師：福島県企画調整部長

伊藤泰夫氏

(4) 経済政策委員会の開催（平成29年1月12日：仙台市、会員など12名出席）

・演題：「アベノミクス成長戦略」

講師：内閣官房日本経済再生総合事務局次長

宇野雅夫氏

・演題：「ゼロ金利制約下における伝統的金融政策と非伝統的金融政策」

講師：東北大学大学院経済学研究科准教授

西山慎一氏

重点活動5：持続可能な地域社会の実現に向けた「S+3E」への着実な対応

1. 持続可能な地域社会の構築に向けた取り組み

(1) 地域エネルギーに関する理解促進

①東日本大震災復興対策委員会・エネルギー環境委員会合同視察会の開催

（平成28年7月29日：大熊町・双葉町、会員など17名参加）

東北におけるエネルギー事情に関する理解促進を図るため、講演会を実施した。

・視察先：「東京電力福島第一原子力発電所」

…汚染水の浄化設備や凍土遮水壁設備を視察した。

(2) エネルギー環境委員会の開催（平成28年12月19日：仙台市、会員など約90名参加）

・演題：「持続可能な地域社会の実現に向けて～日本のエネルギー政策を考える～」

講師：NPO 法人国際環境経済研究所理事・主席研究員

竹内純子氏

重点活動6：海外との経済交流の推進・拡大

1. 地域産品の輸出促進など海外に関する支援

(1) 環日本海経済交流委員会・講演会の開催

（平成29年2月24日：新潟市、会員など10名出席）

・演題：「九州農水産物直販(株)輸出の取り組み～現状と今後のビジョン～」

講師：(一社)九州経済連合会農林水産部長

小田保氏

(2) 東北海外展開加速化協議会と連携した取り組み

（平成28年7月25日：イタリア・ミラノ市、フードジャーナリスト等約30名参加）

東北ブランドの確立に向けて、東北の「食文化・食産業」を広く海外へアピールすることを目

的に、岩手県・宮城県・石巻市とともに取り組んだ。「東北海外展開加速化協議会」（事務局：当会）の活動を引き継ぎ、イタリアでの東北産食材に対する理解度を高め、輸出につなげるためイタリア・ミラノ市にて開催された料理セミナーに協力した。

- ・講師：イタリアのNPO「La Via del SAKE(酒道)」代表 マルコ・マッサロット 氏
- 料理：①野菜の味噌ディップ、②大葉と海苔のリゾット、③蕎麦を使った和風パスタ

（3）東北産を中心とした農産物輸出実証事業

（平成28年10月9日～19日：仙台塩釜港～米国ロサンゼルス港）

（株）ファーストインターナショナル、塩竈港運送（株）とともに、日本通運（株）が開発した鮮度保持輸送技術（NECK'S（ネックス）：Nippon Express Cool Keeping System）を用いて、日本から米国への最速航路（仙台塩釜港～米国ロサンゼルス港：所要日数10日間）経由で青森県産「ながいも」等の農産物を輸送した。

2. 海外との経済交流促進

（1）「日中経済協力会議」への参加（平成28年11月21日～22日：富山県富山市）

中国東北地方（黒龍江省・遼寧省・吉林省・内蒙古自治区の3省1自治区）と日本との経済交流を目的に開催された「2016年日中経済協力会議-於富山」に参加した。当会は共催団体として、向田副会長他が参加した。

重点活動7：連携・交流・発展の基盤となる基礎的社会資本の整備促進

1. 基礎的社会資本の整備促進

（1）交通運輸委員会・講演会の開催（平成28年3月29日：仙台市、会員など14名出席）

【話題提供】

- ・演題：「開通30周年を迎えた東北自動車道並びに
東北地方の高速道路が果たした役割・効果について」

講師：東日本高速道路（株）常務執行役員東北支社長 小島 治 雄 氏

【講演】

- ・演題：「CA コンテナを活用した海上輸送システムについて」

講師：NYK Container Line（株）営業本部営業部専任部長 都 泰 全 氏

（2）フォーラム「がんばろう！東北」の開催

（平成28年7月21日：青森市、会員など約550名参加）

東北地域の復興に不可欠な社会資本の早期復旧・復興や、大震災を踏まえた今後の社会資本整備のあり方などを訴えるため、フォーラムを開催するとともに、政府等の関係機関への要望活動を実施した。

【基調講演】

- ・演題：「災害列島日本 大地動乱の時代に必要な備え」

講師：CeMI 環境・防災研究所副所長 松 尾 一 郎 氏

【要望活動】（平成28年7月29日）

- ・要望書「東北における社会資本整備の重点的推進に関する提言」
- ・要望先：細田博之 自由民主党幹事長代行、武藤 浩 国土交通省事務次官、財務省

（3）第18回日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラムの開催

（平成28年9月1日：新潟市、会員など約400名参加）

日本海国土軸の根幹をなし、日本海沿岸地域の産業経済活性化、救急医療施設への搬送時間の短縮や災害時における代替路としての機能を担い、「いのちの道」として極めて重要な路線である日本海沿岸東北自動車道の早期完成を訴えるフォーラムを開催するとともに、フォーラムの内容を踏まえ採択した「大会決議」に基づき、政府など関係機関に対し要望活動を実施した。

【基調講演】

- ・演題：「時代を読み解く～正しい判断は正しい情報から～」

講師：ニュースキャスター・大阪総合研究代表

辛 坊 治 郎 氏

【要望活動】（平成28年9月23日）

- ・要望書「日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望」
- ・要望先：下村博文 自由民主党幹事長代行、田中良生 国土交通省副大臣
ほか日沿道沿線選出の国会議員等

2. 東北の空港・港湾の整備・利活用促進

（1）韓国国際物流ハブ機能視察会の開催

（平成28年11月18日～20日：韓国・仁川国際空港・仁川港、会員など14名参加）

東アジアの国際物流ハブとして機能する韓国・仁川国際空港等の最新動向を把握することを目的に視察会を実施した。

【視察先】

- ・仁川国際空港

…トランジェットエリアにある各施設を視察した。

- ・仁川港

…展望台から仁川港全体（貨物ターミナル、旅客ターミナル、倉庫群）を遠望し、旅客ターミナルを視察した。

（2）鉄道コンテナ見学会の開催（平成28年9月27日：仙台市、会員など約60名参加）

近年、低炭素型の物流体系の構築が求められる中で、モーダルシフトや更なる物流効率化に向けた取り組みの一環として、鉄道コンテナ輸送の仕組みの理解促進を図るため、見学会を開催した。

【見学先】

- ・JR 貨物仙台貨物ターミナル駅

…大型荷役機器によるコンテナ荷役デモンストレーションや31ft コンテナを視察した。

(3) 国土交通白書説明会の開催（平成28年10月7日：仙台市、会員など約220名参加）

平成27年度国土交通白書の内容について理解を深めるため開催した。

- ・演題：「我が国の経済成長を支える国土交通行政の展開

～生産性革命をもたらす戦略的なインフラマネジメント～

講師：国土交通省総合政策局政策課政策調査室長

渡瀬 友博氏

3. 情報通信インフラの利活用促進

(1) インフラの利活用促進に向けた取り組み

①先進的施設の視察（平成28年10月5日、仙台市・大郷町、会員など37名参加）

IoTを活用した先進的な新産業創出に取り組む企業を通じて、現状把握や課題抽出、情報発信等の活動に資するため、視察会を実施した。

【視察先】

- ・東北大学次世代移動体システム研究プロジェクト

…超小型新モビリティやトライク（三輪電動アシスト自転車）の試乗体験や、自立走行車のデモ運転を視察した。

- ・コマツIoTセンター東北

…ICT建機への試乗やドローンによる3次元測定のデモンストレーションを視察した。

②情報通信委員会の開催（平成28年11月2日：仙台市、委員など16名参加）

【事例紹介】

- ・演題：「水産×IT 世界の水産業の未来をつくるために」

講師：アンデックス(株)代表取締役

三嶋 順氏

③「モノのインターネット（IoT）」等、情報通信技術に関する理解促進

（平成28年11月2日：仙台市、会員など約90名参加）

IoTの知見を深めるため、講演会を実施した。

【講演】

- ・演題：「IoT時代におけるサイバーセキュリティの課題と対策」

～国内、国際的な動きと企業が取り組むべきこと～

講師：日本電信電話(株)代表取締役副社長

篠原 弘道氏

重点活動8：地方創生に資する広域連携の推進

1. 広域連携の推進に向けた取り組み

(1) 北海道・東北未来戦略会議との連携

①第11回ほくとうトップセミナーの開催（平成28年10月27日：仙台市）

「北海道・東北未来戦略会議」が開催する「ほくとうトップセミナー」において、公衆無線 LAN サービス（Wi-Fi）の整備促進に向けた広域連携のあり方について意見交換を行った。

【講演会】

・演題：「官民による無料公衆無線 LAN の広域連携と ICT の活用について」

講師：エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(株)

代表取締役社長 南川夏雄氏

【意見交換】

・テーマ：「官民による無料 Wi-Fi の広域連携と ICT の活用について

～文化的・歴史的資源を活かした交流人口の拡大に向けて～」

Ⅲ. 活動内容

総会・役員会等

1. 定時総会

■第4回（平成28年6月8日：仙台市）

会員659名（委任状、議決権行使書の提出を含む）の出席を得て開催した。

高橋会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、報告事項1～2を報告後、第1号～第4号議案を審議し、いずれも可決された。

【報告事項】

報告事項1：平成27年度事業報告について

報告事項2：平成28年度事業計画及び平成28年度収支予算について

【決議事項】

第1号議案：平成27年度決算報告の件

第2号議案：理事20名選任の件

第3号議案：監事3名選任の件

第4号議案：定款変更の件

終了後、「創立50周年記念式典・記念講演」を開催した。

【特別スピーチ】

講師：駐日米国大使

キャロライン・ケネディ氏

【記念講演】

演題：「国際リニアコライダーと地方創生」

講師：公立大学法人岩手県立大学学長

鈴木厚人氏

2. 理事会

■第13回（平成28年4月28日：仙台市）

理事15名、監事3名の出席を得て開催した。

高橋会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第8号議案を審議し、いずれも可決された。

【決議事項】

第1号議案：平成27年度事業報告及び平成27年度決算報告の件

第2号議案：任期満了に伴う役員候補者選任の件

第3号議案：定款変更の件

第4号議案：定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

第5号議案：新規入会会員の件

第6号議案：任期満了に伴う会長、副会長、専務理事、常務理事の候補者選任の件

第7号議案：任期満了に伴う常任政策議員、政策議員等の候補者選任の件

第8号議案：創立50周年記念式典の件

■第14回（平成28年6月8日：仙台市）

理事17名、監事2名の出席を得て開催した。

大江専務理事が議長となり議事を進め、第1号～第11号議案を審議し、いずれも可決された。

【決議事項】

- 第1号議案：任期満了に伴う会長、副会長、専務理事、常務理事選任の件
- 第2号議案：任期満了に伴う常任政策議員及び政策議員選任の件
- 第3号議案：任期満了に伴う政策会議議長及び副議長選任の件
- 第4号議案：任期満了に伴う委員会及び地域懇談会の正副委員長選任の件
- 第5号議案：任期満了に伴う参与選任の件
- 第6号議案：名誉会長選任の件
- 第7号議案：事務局長任免の件
- 第8号議案：常務役員報酬の件
- 第9号議案：新規入会会員の件
- 第10号議案：創立50周年記念式典の件
- 第11号議案：東経連ビジョン策定委員会設置の件

■第15回（平成28年10月14日：仙台市）

理事13名、監事2名の出席を得て開催した。

海輪会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第3号議案を審議し、いずれも可決された。また、職務執行状況等について報告した。

【決議事項】

- 第1号議案：新規入会会員の件
- 第2号議案：常任政策議員及び政策議員補充選任の件
- 第3号議案：運営強化積立金取崩しの件

【報告事項】

(1) 職務執行状況について

- ①会員状況
- ②平成28年度上期活動状況
- ③東北放射光施設、国際リニアコライダー（ILC）に関する最新動向

■第16回（平成28年12月1日：東京都）

理事11名、監事2名の出席を得て開催した。

海輪会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第2号議案を審議し、いずれも可決された。

【決議事項】

- 第1号議案：常任政策議員及び政策議員等補充選任の件
- 第2号議案：東経連ビジョン取りまとめの件

■第17回（平成29年3月31日：仙台市）

理事11名、監事2名の出席を得て開催した。

海輪会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第5号議案を審議し、いずれも可決された。また、職務執行状況等について報告した。

【決議事項】

第1号議案：常任政策議員及び政策議員補充選任の件

第2号議案：平成28年度補正予算の件

第3号議案：委員会改組の件

第4号議案：改組後の委員会委員長選任の件

第5号議案：平成29年度中期事業計画及び平成29年度収支予算の件

【報告事項】

（1）職務執行状況について

①会員状況

②平成28年度下期活動状況

③国際リニアコライダー（ILC）に関する最新動向

④東北放射光施設に関する最新動向

3. 監事会

■第4回（平成28年4月28日：仙台市）

監事3名の出席を得て開催した。

平成27年度の会計及び業務の監査を実施した。

4. 政策会議

■第7回（平成28年10月31日：仙台市）

常任政策議員及び政策議員など65名の出席を得て開催した。

鈴木議長が挨拶の後、議事を進め、「平成28年度上期活動状況等について」を説明し、意見交換を行った。

終了後、講演会を開催した。

演 題：「最近の金融経済情勢について」

講 師：日本銀行仙台支店長

竹 澤 秀 樹 氏

■第8回（平成29年3月9日：仙台市）

常任政策議員及び政策議員など68名の出席を得て開催した。

矢萩副議長が挨拶の後、議事を進め、「（東経連新ビジョンを踏まえた）中期事業計画（案）」を説明し、意見交換を行った。

終了後、講演会を開催した。

演 題：「平成29年度の財政政策について」

講 師：財務省東北財務局長

中 田 悟 氏

委員会活動

1. 東日本大震災復興対策委員会（委員長・笠原 賢二 副会長）

東日本大震災復興対策委員会では、被災地における復旧・復興に向けた取り組みや現状把握を行い、復興の加速化に必要な施策や予算措置等について検討するなどし、「平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算に関する東経連の要望」のとりまとめにつなげ、国など関係機関へ要望活動を行った。

（1）委員会の開催

■東日本大震災復興対策委員会（平成28年4月20日：仙台市）

笠原委員長はじめ委員12名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成27年度活動報告」および「平成28年度事業計画」について報告、意見交換を行った。

委員会終了後、会員など約16名の出席を得て講演会を開催した。

・演題：「東日本大震災から5年～新しい成長に向けて～阪神・淡路大震災を教訓に」

講師：（株）日本政策投資銀行東北復興・成長サポート室長 金内 雅人氏

■東日本大震災復興対策委員会（平成29年3月21日：仙台市）

笠原委員長はじめ委員11名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年度活動報告」、「新ビジョンの概要」および「平成29年度委員会活動計画」について報告、意見交換を行った。

委員会終了後、会員など約16名出席を得て講演会を開催した。

・演題：「東日本大震災からの復興の現状と課題」

講師：復興庁調査・調整班参事官 恩田 馨氏

（2）要望活動の実施

■平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算に関する東経連の要望

（平成28年6月16日）

平成28年度第二次補正予算および平成28年度政府予算の編成に向け、東北地域の重点事項3つ（①東北復興への施策の強化・継続、②加速器関連産業の東北への集積、③「新しい東北」の実現に向けた諸施策の推進）について要望活動を実施した。

【要望先】高木 毅 復興大臣、高村正彦 自由民主党副総裁、

稲田朋美 自由民主党政務調査会長、

ほか各省庁、東北7県選出国會議員など

（3）被災地域等の現状把握

■エネルギー環境委員会・東日本大震災復興対策委員会合同視察会

（平成28年7月29日：大熊町、会員など17名参加）

福島の実況把握や復興に向けた機運の醸成を目的に、視察会を実施した。

【視察先】

・東京電力福島第一原子力発電所

…汚染水の浄化設備や凍土遮水壁設備を視察した。

■第49回東北地方経済懇談会における視察

(平成28年9月8日～9日：大熊町・双葉町・山元町・仙台市、約50名参加)

東日本大震災からの復旧・復興に向けて取り組んでいる状況について、日本経済団体連合会と共同で視察会を実施した。

【視察先】

- 東京電力福島第一原子力発電所
…免震重要棟、構内等を回り、廃炉に向けた取り組み等を視察した。
- 農業生産法人(株)GRA
…東日本大震災の津波により被災したイチゴ農家と協力し、単なる生産の復旧ではなく、高品質・高付加価値型のイチゴ生産に向けた取り組みを視察した。
- 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
…被災地における医療復興、スーパーコンピューター等を使ったバイオバンク・ゲノム解析等を通じた東北発の予防医療の実現、創薬研究等の次世代医療体制の構築及び新しい産業創出に向けた取り組み等を視察した。

■東日本大震災 BCM 視察会の開催（東日本大震災復興対策委員会と観光文化委員会の合同）

(平成28年11月1日～2日：女川町・石巻市・南三陸町・大船渡市、22名参加)

東日本大震災から5年以上が経過し、震災の記憶風化も懸念される中で、改めて復興の現場の状況と課題について理解を深めるとともに、被災企業の事業復興の取り組みからBCM（事業継続マネジメント）への知見を深めるべく、観光文化委員会と連携して視察会を開催した。

【視察先】

- 女川町
…大きな津波被害を受けた女川町の復興まちづくりの取り組みを視察した。
- (株)鮮冷
…水産業を基幹産業として発展してきた女川町における水産業の復興への取り組みを視察した。
- 日本製紙(株)石巻工場
…津波の直撃で甚大な被害を受けながら、半年で操業を再開、1年半後には完全復興を果たした同社石巻工場の取り組みを視察した。
- 南三陸ホテル観洋
…自らの旅館も被害を受けながら、町民など震災避難者等の受け入れを行い、その後も震災経験を伝える語り部バスの運行など南三陸町の震災復興に大きな貢献を果たしている同社の取り組みを視察した。
- (株)マイヤ
…迅速・的確な避難誘導で一人の犠牲者も出さず、震災当日も可能な店舗では営業を継続するなど地域の暮らしを支えるライフラインとして大きな役割を果たした同社の取り組みを視察した。
- 酔仙酒造(株)
…東日本大震災で壊滅的な被害を受けながら、平成23年10月には販売を再開、平成24年の8月には大船渡市に新工場を完成させるなど周囲が驚くスピードで復興を成し遂げた同社の取り組みを視察した。

2. 経済政策委員会（委員長・渡邊 博美 副会長）

経済政策委員会では、東北地域の景気動向と企業経営の実態のほか、会員企業における被災・風評被害の状況や復興支援への取り組み、国などの復興支援策や復興創生期間に対する考え方などについてアンケート調査を実施したほか、震災復興に向けて必要な施策の実施や予算措置などについての政策提言・要望活動に取り組んだ。

（1）委員会の開催

■経済政策委員会・講演会（平成29年1月12日：仙台市）

渡邊委員長はじめ委員12名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年度活動状況」について報告、意見交換を行った。

委員会終了後、会員など約100名の出席を得て講演会を開催した。

・演題：「アベノミクス成長戦略」

講師：内閣官房日本経済再生総合事務局次長 宇野 雅夫氏

・演題：「ゼロ金利制約下における伝統的金融政策と非伝統的金融政策」

講師：東北大学大学院経済学研究科准教授 西山 慎一氏

（2）視察会の開催

■経済政策委員会・産業政策委員会合同視察会

（平成28年10月17日：山元町・亘理町、会員など36名参加）

TPP発効の動きを踏まえて、農業で6次産業化など「攻め」の経営に取り組んでいる企業を訪問し、今後の事業活動に資するべく開催した。

【視察先】

・農業生産法人(株)GRA

…東日本大震災による津波で被災した地元いちご農家と協力しながら、単なる生産の復旧ではなく、高品質・高付加価値型の生産への取り組みを視察した。

・舞台アグリノベーション(株)

…お米の低温保管、低温精米、低温包装を行うトータルコールド製法や低温倉庫による保管方法、納品された玄米の検査体制である全ロット検査体制などについて視察した。

（3）説明会の開催

■平成28年度経済財政白書説明会（平成28年9月23日：仙台市）

平成28年度経済財政白書の内容について理解を深めるため開催した。会員など約80名が参加した。

・テーマ：「日本経済の現状と今後の展望」～リスクを越えて好循環の確立へ～

講師：内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（総括担当）付上席政策調査員
安井 洋輔氏

（4）調査活動

■企業経営に関するアンケート調査の実施

（第77回調査：平成28年4月実施・5月公表、第78回：平成28年10月実施・11月公表）

東北地域の景気動向と企業経営の実態のほか、東日本大震災から5年が経過したことから、会員企業の生産・売上水準回復の障害となっていることや望ましい為替レートなどについて調査し、結果をとりまとめた。

- ・第77回調査：発送社数285社、回答社数210社、回答率73.7%
- ・第78回調査：発送社数288社、回答社数212社、回答率73.6%

■東北の景気動向調査の実施（毎月公表）

各種経済指標の分析やヒアリング等により、東北の景気動向を調査し、結果をとりまとめた。

3. 産業政策委員会（委員長・大山 健太郎 副会長）

産業政策委員会では、「東北 ILC 推進協議会」と連携し、東北復興のシンボルとなる国際リニアコライダー（ILC）の東北への誘致実現に向けて、政府等への要望活動を行うとともに、北上山地への立地に関する域内外への周知広報活動に取り組んだ。また、政府の ILC 誘致決定に備え、東北 ILC 推進協議会の中に、東北地域の産学官民が密接に連携した、「東北 ILC 準備室」を設置するとともに、「東経連ビジネスセンター」や他の支援機関などと連携し、中小企業の活性化、被災企業の復興などに向けた支援活動に取り組んだ。

（1）委員会の開催

■第1回産業政策委員会（平成28年12月7日：仙台市）

大山健太郎委員長、委員など18名の出席を得て開催し、ILCの東北誘致や加速器関連産業の集積、育成に向けた取り組みについて議論した。

その後、誘客戦略に関する講演と意見交換を行った。

- ・演題：「東北の魅力と外国人研究者をターゲットとした誘客戦略を考える」

講師：岩手県海外情報発信員

和山 アマンダ 氏

JAPAN TRAVEL 宮城地域パートナー

ベルガス・ジャスティン 氏

HASEKURA 2.0 代表理事

レナータ・ピアザ 氏

■第2回産業政策委員会（平成29年3月1日：仙台市）

大山健太郎委員長はじめ委員など15名の出席を得て開催し、「平成28年度活動報告」を行い、意見交換を行った。

- ・演題：「福島イノベーション・コースト構想について」

講師：福島県企画調整部長

伊藤 泰夫 氏

（2）東北 ILC 推進協議会と連携した取り組み（国際リニアコライダー（ILC）誘致活動）

ILCの日本・北上地域への誘致実現に向けて、「東北 ILC 推進協議会」との連携により、政府等関係機関への要望活動を実施したほか、機運を高めるための全国及び域内への普及啓発活動に取り組んだ。また、政府の ILC 誘致決定に備え、東北 ILC 推進協議会の中に、東北地域の産学官民が密接に連携した、「東北 ILC 準備室」を設置するにあたり、これを支援するとともに、地域の受入体制の準備をはじめ、地域と日本の成長に資する方策の検討に協力した。

■平成28年度総会・特別講演（平成28年6月14日：仙台市、会員など約130名参加）

- ・演題：「ILCに関する最新の状況について」

講師：東京大学素粒子物理国際研究センター特任教授

山下 了 氏

■SSH（スーパーサイエンスハイスクール）での ILC 講演会の開催

ILC 計画の理解促進を図るため、次世代を担う東北のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）等を対象に、科学技術に対する体系的な講義を行い、中高生に対する理解促進と科学に対する好奇心喚起に努めた。

【磐城高等学校】（平成28年6月16日：いわき市、約80名参加）

・演題：「宇宙誕生の謎に迫る国際リニアコライダー」

講師：東北大学大学院理学研究科物理学専攻准教授 佐 貴 智 行 氏

【札幌西高等学校】（平成28年10月5日：札幌市、約190名参加）

・演題：「宇宙の謎を解く最先端科学」

講師：東京大学素粒子物理国際センター特任教授 山 下 了 氏

【仙台青陵中等教育学校】（平成28年10月18日：仙台市、約420名参加）

・演題：「宇宙誕生の謎に迫る国際リニアコライダー」

講師：東北大学大学院理学研究科物理学専攻准教授 佐 貴 智 行 氏

【山形西高等学校】（平成28年11月1日：山形市、約260名参加）

・演題：「宇宙の謎に迫る国際リニアコライダー」

講師：岩手大学理工学部物理・材料理工学科教授 成 田 晋 也 氏

■サイエンスデイでの ILC 体験ブースの出演

（平成28年7月17日：仙台市、約1,000名来場）

ILC の解説パネルや建設地のジオラマなどを展示するほか、子供向けに ILC カルタや実験イベント等を行い、来場者に ILC の意義・研究内容・建設地の特徴をアピールした。

・体験ブース：「みらいをひらく ILC 世界最先端の研究所がやってくる！」

■地域が誇るすごいもの展～東北・新潟の魅力を再発見～での支援企業ブースの展示

（平成29年1月11日～15日：仙台市、7,239名来場）

東経連ビジネスセンター、(公財)東北活性化研究センター、東北電力(株)と共同で開催し、地域の方々に東北・新潟の世界に発信できる優れた技術・企業を認識頂くことを目的に開催した。(公財)東北活性化研究センターと連携し、東経連ビジネスセンターの過去支援企業などの商品を東北7県からそれぞれ展示した。

また、最終日には東北 ILC 推進協議会と連携し、サイエンスデイで人気を博した ILC カルタや ILC 紙芝居、霧箱実験などの子ども向けのイベントを開催し、約70名に参加頂いた。

■G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催記念シンポジウムの開催

（平成28年5月21日：仙台市、約300名来場）

2016G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議推進協力委員会、東経連ビジネスセンター、東北 ILC 推進協議会と共催で、シンポジウム「国際リニアコライダーと東北の創造的復興」を開催した。

【基調講演】

・演題：「国際リニアコライダーと新しい東北の創生」

講師：早稲田大学特命教授 伊 藤 滋 氏

【パネルディスカッション】

・テーマ：「国際リニアコライダーと東北の創造的復興」

パネリスト：東北大学大学院経済学研究科教授
東北大学災害科学国際研究所副所長
東北大学大学院理学研究科准教授
東北大学キャンパスデザイナー
(株)千田精密工業取締役

大 滝 精 一 氏
奥 村 誠 氏
佐 貫 智 行 氏
小 貫 勅 子 氏
千 田 ゆきえ 氏
西 山 英 作

コーディネーター：(一社)東北経済連合会産業経済部長

■G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議歓迎レセプションでのブース出展

(平成28年5月19日：仙台市、レセプション来場者708名【うち会議関係者544名】)

東北ILC推進協議会と東経連ビジネスセンターは、同レセプション参加の国内外のプレス関係者と招待者に対して、国際共同科学プロジェクト「国際リニアコライダー(ILC)」とビジネスセンターの支援企業紹介のブースを設置、新たな段階を迎えた東北復興への取り組みと、力強く復興する東北企業を紹介した。

■国際リニアコライダー(ILC)の日本誘致に関する要望(平成28年9月7日)

東北復興のシンボルとして、また、ILCを核とした国際学術研究都市の形成や加速器関連産業の育成、集積などによる新しい東北づくりにとって重要なテーマとなるILCの日本・北上地域への誘致実現に向けて「東北ILC推進協議会」との連携により政府など関係機関への要望活動を実施した。

【主な要望先】

- ・水落敏栄 文部科学副大臣
細田博之 自由民主党総務会長
河村建夫 リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟会長
塩谷 立 リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟幹事長

■ILCパンフレットの作成(平成28年10月、12月)

ILC計画に対する理解促進を図るため、ILC計画の概要や日本・北上地域への誘致実現の意義、国際学術研究都市の形成や加速器関連産業の育成、集積をはじめとする波及効果などを主な内容としたパンフレットを作成し、広く一般に配布した。(作成部数3,000部)

■国際学会「IEEE」でのブース出展

(平成28年11月1日～3日：フランス・ストラスブール市、約1,000名来場)

岩手県、岩手県ILC推進協議会と協力し、世界最大級の電気工学・電子工学技術の国際学会「IEEE」主催の展示会に出展、ILCの製造に関する技術を持つ東北企業のポテンシャルの高さや東北のILC誘致にかける熱意を世界に向けて発信した。

■視察会の実施（平成28年11月22日：奥州市・一関市、29名参加）

ILC 東北誘致の機運の醸成と ILC 建設についての理解を深めるため、ILC の建設候補地である北上サイトの視察会を開催した。

【視察先】

- 奥州市街地
…JR 水沢江刺駅構内の ILC コーナーを視察した後、バスの車窓から奥州市街地を視察した。
- 奥州宇宙遊学館、国立天文台 水沢
…4次元デジタル宇宙シアターを視聴した後、天文学や奥州宇宙遊学館の前身である緯度観測所に関する展示や ILC の展示物を視察した。また、隣接する国立天文台の直径 20m の巨大電波望遠鏡も併せて視察した。
- 室根山山頂
…山頂から ILC 建設候補地の全景を視察した。
- 国土交通省一関防災センター北上川学習交流館「あいぼーと」
…航空写真による ILC 建設候補地の位置確認や展望室からの視察を行った。

■活動報告会の実施（平成28年12月16日：仙台市、130名出席）

東北 ILC 準備室が主催し、室長である鈴木厚人岩手県立大学学長から取り組みの検討状況などが報告された。

■サイエンス×ハローキティ・プロジェクトへの協力

先端加速器科学技術推進協議会（AAA）が、難解な素粒子物理学の世界を、ハローキティとのコラボレーションを通じて多くの方々に関心を持っていただくための「サイエンス×ハローキティ・プロジェクト」に協力した。本プロジェクトは平成 28 年夏から開始し、ハローキティが望遠鏡をモチーフにした ILC の装置に乗って、宇宙の謎を解こうとする姿をイメージしており、仙台国際センターにて展示を行った他、グッズの販売による収益の一部は ILC の誘致活動に充てられている。

（3）先端産業の集積促進に向けた取り組み

■ILC・加速器産業参入支援事業の開催

ILC や東北放射光をはじめとした加速器産業への東北6県および新潟県企業の参入のため、セミナーの開催や、eEXPO に構築している「バーチャル共同受注体」への登録企業に対する、加速器関連情報や大企業からの発注情報などの提供を行った。

【セミナー】

（平成28年11月7日：仙台市、約50名参加）

- | | |
|---------------------------|-----------|
| • 講師：高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 早野 仁 司 氏 |
| 高エネルギー加速器研究機構(KEK)准教授 | 平 木 雅 彦 氏 |

（平成28年11月25日：八戸市、約30名参加）

- | | |
|---------------------------|-----------|
| • 講師：高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 山 中 将 氏 |
| 高エネルギー加速器研究機構(KEK)教授 | 早 野 仁 司 氏 |

(平成29年1月20日：郡山市、約40名参加)

・講師：東北大学・岩手大学 客員教授
高エネルギー加速器研究機構(KEK) 教授

吉岡正和氏
山中将氏

■経済政策委員会・産業政策委員会合同視察会の開催

(平成28年10月17日：山元町・亶理町、会員約36名参加)

TPP 発効の動きを踏まえて、農業で6次産業化など「攻め」の経営に取り組んでいる企業を訪問し、今後の事業活動に資するべく開催した。

【視察先】

- ・農業生産法人(株)GRA
…東日本大震災による津波で被災した地元いちご農家と協力しながら、単なる生産の復旧ではなく、高品質・高付加価値型の生産への取り組みを視察した。
- ・舞台アグリノベーション(株)
…お米の低温保管、低温精米、低温包装を行うトータルコールド製法や低温倉庫による保管方法、納品された玄米の検査体制である全ロット検査体制などについて視察した。

(4) 東経連ビジネスセンターの活動支援

(※12～14 ページ、重点活動4-1 参照)

(5) その他

■ビジネスマッチ東北2016 (平成28年11月10日：仙台市)

東経連ビジネスセンター、(一社)東北ニュービジネス協議会等との共催により、東北域内企業による事業展示とバイヤーによるビジネスマッチングや商談等を開催した。

- ・出展企業：478企業・団体、参加バイヤー：57社、商談件数：295件
- ・来場者数：7,516名

4. 地域政策委員会 (委員長・三浦 廣巳 副会長)

地域政策委員会では、「地方創生」が重要な政策課題になっている現状に鑑み、創立50周年記念事業として、世界的なラグジュアリー・ブランド「プルネロ・クチネリ」社の協力のもと、シンポジウムを開催すると共に、山形県の補助事業「メイドイン山形」ものづくり支援事業の採択を受け、米沢織物や山形大学工学部と連携して地方創生モデル事業「米沢テキスタイル・プロジェクト」を実施した。さらに、当会が事務局を務める北海道・東北未来戦略会議との連携により、公衆無線 LAN サービスの整備促進について、北海道・東北地域の官民が連携して取り組むべき方向性や戦略などについて意見交換を行った。

(1) 委員会の開催

■地域政策委員会・報告会 (平成29年2月16日：東京都)

三浦委員長はじめ委員7名の出席を得て開催し、「平成28年度活動報告」および「平成29年度活動計画」について審議した。委員会終了後、会員など約130名の出席を得て、本年度実施した「Yonezawa Textile Project (米沢テキスタイル・プロジェクト)」に関する作品展示会と同プロジェクト関係者による報告会を併せて開催した。

【主な次第】

- ・プロジェクト紹介：(株)コンシリウム代表取締役 勝尾 岳彦氏
- ・トークセッション：モデレーター： 勝尾 岳彦氏
- 米沢織物代表 (株)新田専務取締役 新田 源太郎氏
- スタイリスト 河井 真奈氏
- ファッションデザイナー・(株)スチル代表取締役社長 八巻 多鶴子氏
- インダストリアルデザイナー (TIDS) 上島 弘祥氏

(2)「東北発！未来創生シンポジウム in 仙台」の開催

(平成28年8月30日：仙台市、会員など550名参加)

世界的なラグジュアリー・ブランド「ブルネロ・クチネリ」社の協力のもと、昨年11月に東北の若者をイタリア・ソロメオ村に派遣する事業を行った経緯から、仙台市にて創立50周年記念シンポジウムを開催した。

【基調講演】

- ・演題：「ブルネロ・クチネリ氏の理念と実践 ～人間の尊厳とより善き社会の実現」
- 講師：ブルネロ クチネリ社 会長兼 CEO ブルネロ・クチネリ 氏

【パネル討論等】

- ・演題：「Pride&Happiness ～イタリアの地方創生から探る東北の未来」
- パネリスト：ブルネロ クチネリ社会長兼 CEO ブルネロ・クチネリ 氏
- モバイルクルーズ(株)代表取締役 安西 洋之氏
- (株)コンシリウム代表取締役 勝尾 岳彦氏
- (株)気仙沼ニッティング代表取締役社長 御手洗 瑞子氏
- (株)セッションナブル代表取締役 梶屋 陽介氏
- モデレーター：グロービス経営大学院学長 堀 義人氏

(3) 北海道・東北未来戦略会議との連携による広域事業の推進

■第11回ほくとうトップセミナーの開催(平成28年10月27日：仙台市)

「北海道・東北未来戦略会議」が開催する「ほくとうトップセミナー」において、公衆無線LANサービス(Wi-Fi)の整備促進に向けた広域連携の在り方について意見交換を行った。

【講演会】

- ・演題：「官民による無料公衆無線LANの広域連携とICTの活用について」
- 講師：エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(株) 代表取締役社長 南川 夏雄氏

【意見交換】

- ・テーマ：「官民による無料Wi-Fiの広域連携とICTの活用について
～文化的・歴史的資源を活かした交流人口の拡大に向けて～」

5. 環日本海経済交流委員会（委員長・福田 勝之 副会長）

環日本海経済交流委員会では、海外との経済交流促進・企業の国際競争力強化に向けて、「日中経済協力会議」へ参加した他、東北海外展開加速化協議会において地域産品の輸出促進などの海外とのビジネス展開への支援や東北産を中心とした農産物輸出実証事業を通して、地域産品の海外への販路拡大、風評被害の払拭に取り組んだ。

（1）委員会の開催

■環日本海経済交流委員会・講演会（平成29年2月24日：新潟市）

福田委員長はじめ委員10名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年度活動報告」および「平成29年度活動計画」について審議した。

委員会開催前には、会員など約50名の出席を得て講演会を開催した。

・演題：「九州農水産物直販(株)輸出の取り組み～現状と今後のビジョン～」

講師：（一社）九州経済連合会農林水産部長 小田 保氏

（2）「日中経済協力会議」への参加（平成28年11月21日～22日：富山県富山市）

中国東北地方（黒龍江省・遼寧省・吉林省・内蒙古自治区の3省1自治区）と日本との経済交流を目的に開催された「2016年日中経済協力会議-於富山」に参加した。当会は共催団体として、向田副会長他が参加した。

（3）地域産品の輸出促進などの海外とのビジネス展開への支援

■「東北海外展開加速化協議会」における活動

（平成28年7月25日：イタリア・ミラノ市、フードジャーナリスト等約30名参加）

東北ブランドの確立に向けて、東北の「食文化・食産業」を広く海外へアピールすることを目的に、岩手県・宮城県・石巻市とともに取り組んだ。「東北海外展開加速化協議会」（事務局：当会）の活動を引き継ぎ、イタリアでの東北産食材に対する理解度を高め、輸出につなげるためイタリア・ミラノ市にて開催された料理セミナーに協力した。

・講師：イタリアのNPO「La Via del SAKE(酒道)」代表 マルコ・マッサロット 氏

料理：①野菜の味噌ディップ、②大葉と海苔のリゾット、③蕎麦を使った和風パスタ

■東北産を中心とした農産物輸出実証事業

（平成28年10月9日～19日：仙台塩釜港～米国ロサンゼルス港）

（株）ファーストインターナショナル、塩竈港運送(株)とともに、日本通運(株)が開発した鮮度保持輸送技術（NECK'S（ネックス）：Nippon Express Cool Keeping System）を用いて、日本から米国への最速航路（仙台塩釜港～米国ロサンゼルス港：所要日数10日間）経由で青森県産「ながいも」等の農産物を輸送した。

6. 交通運輸委員会（委員長・一力 雅彦 副会長）

交通運輸委員会では、大震災からの復興や産業経済の活性化など、東北地域の発展に不可欠な基礎的
社会資本の整備促進に向けて、フォーラム「がんばろう！東北」や「日本海沿岸東北自動車道建設促進
フォーラム」等を開催し、国など関係機関に要望活動を実施した。

（1）委員会の開催

■交通運輸委員会・講演会（平成28年3月29日：仙台市）

一力委員長はじめ委員14名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年度事業報告」
ならびに「平成29年度交通運輸分野に関する事業計画(案)」について審議した。

委員会開催後には、委員からの話題提供・講演会を開催した。

【話題提供】

- ・演題：「開通30周年を迎えた東北自動車道並びに
東北地方の高速道路が果たした役割・効果について」
講師：東日本高速道路(株)常務執行役員東北支社長 小島 治 雄 氏

【講演】

- ・演題：「CA コンテナを活用した海上輸送システムについて」
講師：NYK Container Line(株)営業本部営業部専任部長 都 泰 全 氏

（2）基礎的社会資本の整備促進に向けた取り組み

■フォーラム「がんばろう！東北」（平成28年7月21日：青森市、会員など約550名参加）

東北地域の復興に不可欠な社会資本の早期復旧・復興や、大震災を踏まえた今後の社会資本
整備のあり方等を訴えるため、フォーラムを開催するとともに、政府等の関係機関への要望活
動を実施した。

【基調講演】

- ・演題：「災害列島日本 大地動乱の時代に必要な備え」
講師：CeMI 環境・防災研究所副所長 松 尾 一 郎 氏

【要望活動】（平成28年7月29日）

- ・要望書「東北における社会資本整備の重点的推進に関する提言」
- ・要望先：細田博之 自由民主党幹事長代行、武藤 浩 国土交通省事務次官、財務省

■第18回日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラムの開催

（平成28年9月1日：新潟市、会員など約400名参加）

日本海国土軸の根幹をなし、日本海沿岸地域の産業経済活性化、救急医療施設への搬送時間
の短縮や災害時における代替路としての機能を担い、「いのちの道」として極めて重要な路線で
ある日本海沿岸東北自動車道の早期完成を訴えるフォーラムを開催するとともに、フォーラム
の内容を踏まえ採択した「大会決議」に基づき、政府など関係機関に対し要望活動を実施した。

【基調講演】

- ・演題：「時代を読み解く～正しい判断は正しい情報から～」
講師：ニュースキャスター・大阪総合研究代表 辛 坊 治 郎 氏

【要望活動】（9月23日）

- ・要望書「日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望」

- ・要望先：下村博文 自由民主党幹事長代行
田中良生 国土交通省副大臣
ほか日沿道沿線選出の国会議員等

(3) 東北の空港・港湾の整備・利活用促進に向けた取り組み

■韓国国際物流ハブ機能視察会の開催

(平成28年11月18日～20日：韓国・仁川国際空港・仁川港、会員など約14名参加)
東アジアの国際物流ハブとして機能する韓国・仁川国際空港等の最新動向を把握することを目的に視察会を実施した。

【視察先】

- ・仁川国際空港
…トランジェットエリアにある各施設を視察した。
- ・仁川港
…展望台から仁川港全体（貨物ターミナル、旅客ターミナル、倉庫群）を遠望し、旅客ターミナルを視察した。

■鉄道コンテナ見学会の開催（平成28年9月27日：仙台市、会員など約60名参加）

近年、低炭素型の物流体系の構築が求められる中で、モーダルシフトや更なる物流効率化に向けた取り組みの一環として、鉄道コンテナ輸送の仕組みの理解促進を図るため、見学会を開催した。

【視察先】

- ・JR 貨物仙台貨物ターミナル駅
…大型荷役機器によるコンテナ荷役デモンストレーションや31ft コンテナを視察した。

(4) 見学会・説明会等の開催

■国土交通白書説明会（平成28年10月7日：仙台市、会員など約220名参加）

平成27年度国土交通白書の内容について理解を深めるため開催した。

- ・演題：「我が国の経済成長を支える国土交通行政の展開
～生産性革命をもたらす戦略的なインフラマネジメント～」

講師：国土交通省総合政策局政策課政策調査室長

渡瀬友博氏

7. 情報通信委員会（委員長・藤崎 三郎助 副会長）

情報通信委員会では、災害に強い情報通信基盤の整備や IoT を活用した先進的な新産業創出に取り組み、地域コミュニティの活性化に向けて、情報発信や要望活動を実施した。

（1）委員会の開催

■情報通信委員会・講演会（平成28年11月2日：仙台市）

藤崎委員長はじめ委員16名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年活動報告」について審議した。その後、情報通信に関する事例紹介をいただき、意見交換を行った。

委員会終了後は、会員など約90名の出席を得て講演会を開催した。

【事例紹介】

- ・演題：「水産×IT 世界の水産業の未来をつくるために」

講師： アンデックス(株)代表取締役

三 嶋 順 氏

【講演】

- ・演題：「IoT 時代におけるサイバーセキュリティの課題と対策」

～国内、国際的な動きと企業が取り組むべきこと～

講師：日本電信電話(株)代表取締役副社長

篠 原 弘 道 氏

（2）情報通信インフラの利活用促進に向けた取り組み

■先進的施設の視察（平成28年10月5日：仙台市・大郷町、会員など37名参加）

IoT を活用した先進的な新産業創出に取り組む企業を通じて、現状把握や課題抽出、情報発信等の活動に資するため、視察会を実施した。

【視察先】

- ・東北大学次世代移動体システム研究プロジェクト

…超小型新モビリティやトライク（三輪電動アシスト自転車）の試乗体験や、自立走行車のデモ運転を視察した。

- ・コマツIoTセンター東北

…ICT 建機への試乗やドローンによる3次元測量のデモンストレーションを視察した。

8. エネルギー環境委員会（委員長・若井 敬一郎 副会長）

エネルギー環境委員会では、エネルギー・環境分野における最新技術の動向や先進的な取り組みについて情報発信を実施した。また、被災地の現状把握や復興に向けた機運の醸成を目的に、視察会を実施した。

（1）委員会の開催

■エネルギー環境委員会（平成28年12月19日：仙台市）

若井委員長はじめ委員18名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年活動状況」について報告した。

委員会終了後は、会員など約90名の出席を得て講演会を開催した。

【講演】

- ・演題：「持続可能な地域社会の実現に向けて～日本のエネルギー政策を考える～」

講師： NPO 法人国際環境経済研究所理事・主席研究員

竹 内 純 子 氏

(2) エネルギー事情の理解促進に向けた取り組み

■エネルギー環境委員会・東日本大震災復興対策委員会合同視察会

(平成28年7月29日：大熊町、会員など17名参加)

福島の実況把握や復興に向けた機運の醸成を目的に、視察会を実施した。

【視察先】

- ・東京電力福島第一原子力発電所
…汚染水の浄化設備や凍土遮水壁設備を視察した。

9. 観光文化委員会（委員長・鎌田 宏 副会長）

観光文化委員会では、東北観光推進機構と連携しながら、東北が一体となった観光振興策や広域観光事業の展開等により、国内外からの観光客の増加、交流人口の拡大に向けた活動を行った。また、取り組みの一環として「平昌 2018 オリンピック・パラリンピック競技大会」の事前合宿受入提案を外務省と連携し各国オリンピック委員会に対して行った。

(1) 委員会等の開催

■観光文化委員会（平成29年2月21日：仙台市）

鎌田委員長はじめ委員20名（代理を含む）の出席を得て開催し、「平成28年度活動報告」および「平成29年度からの中期事業計画(案)」について審議し承認を得た。

委員会開催前には、会員など約120名の出席を得て講演会を開催した。

【講演】

- ・演題：「『プラタモリ』のまち歩きから見る地域資源の魅力」
講師：日本放送協会制作局エンターテインメント番組部チーフ・プロデューサー
山内太郎氏

(2) 海外からの誘客促進に向けた取り組み

■外客クルーズ船社キーパーソンとの東北の港湾視察会等の実施

インバウンドの拡大の柱の一つ、「クルーズ船誘致」について、平成28年度観光庁「ビジット・ジャパン地方連携事業」の一環として、世界最大のクルーズ船社「カーニバル・コーポレーション」の港湾部門キーパーソン等を東北へ招請し、3県4港の東北港湾や港湾周辺の観光地等を視察した。

【勉強会の実施】

外客クルーズ船社日本支社幹部と勉強会を行った。(平成28年5月27日、11月16日)

【視察会の実施】

- ・外客クルーズ船社日本支社幹部と石巻港・塩竈港を視察した。
(平成28年10月3日、11日)
- ・カーニバル・コーポレーションの港湾部門キーパーソンと石巻港・仙台港・酒田港・新潟東港ならびに各港の周辺施設の視察を実施した。(平成28年10月16日～19日)
- ・外客クルーズ船社日本オフィス幹部と青森港ならびに周辺施設を視察した。
(平成29年2月17日)

■大型クルーズ船誘致のためのパンフレット「Cruise to Tohoku」改訂版の作成

(平成29年2月)

平成28年度観光庁「ビジット・ジャパン地方創生事業」により東北運輸局、東北観光推進機構と共同で、東北港湾の機能・設備や東北観光の魅力等を紹介する英語版パンフレット「Cruise to Tohoku」(改訂版)を作成した。

■シートレード・クルーズ・グローバル2017への出展

(平成29年3月13日～16日：アメリカ・フロリダ州)

各国のクルーズ会社の経営者等が一堂に会する世界最大のクルーズ・コンベンション「シートレード・クルーズ・グローバル2017」に前年に続き出展した。当会からは、小野常務理事他が出席しアジア・クルーズを催行・計画している船社に対して、東北港湾への寄港クルーズ造成の働きかけ等を行った。

■MICE：海外からの企業旅行や国際会議等の誘致に向けた活動

日本企業2社のインセンティブツアー(報奨旅行)が実施され、国際機関と連携・支援した。

【企業旅行】

- ・丸紅台湾：約90名で3泊4日に亘り山形・宮城両県に宿泊(11月)
- ・上海三井物産：約70名で3泊4日に亘り福島・宮城両県に宿泊(11月)

(3) 観光の基幹産業に向けた取り組み

■東北官民トップによる「台湾トップセールス」への参加

(8月23日：台湾台北市)

東北観光推進機構の主催で開催され、東北からは、同機構の清野会長(JR 東日本会長)をはじめ、青森、岩手、宮城、秋田、山形の各県知事と福島、新潟県の副知事、仙台市長、当会海輪会長などの各団体トップが出席した。台湾の観光・旅行団体や航空会社のトップならびに政府関係者との交流・懇談を通じて東北への誘客PRを行うとともに、東日本大震災への支援に対する感謝の意を表した。

■質の高い文化体験プログラムを活用した情報発信(平成28年10月11日、18日)

社寺・仏閣にスポットを当てて、中尊寺・出羽三山神社・大崎八幡宮・瑞巖寺・塩竈神社を訪問し、外国人向けの特別プログラムについて意見交換をした他、外客船社日本支社幹部等が出羽三山神社で祈祷・舞い等の体験を実施した。

(4) 復興ツーリズムの推進

■東日本大震災 BCM 視察会の開催(東日本大震災復興対策委員会と観光文化委員会の合同) (平成28年11月1日～2日：女川町・石巻市・南三陸町・大船渡市、22名参加)

東日本大震災から5年以上が経過し、震災の記憶風化も懸念される中で、改めて復興の現場の状況と課題について理解を深めるとともに、被災企業の事業復興の取り組みから BCM(事業継続マネジメント)への知見を深めるべく、東日本大震災復興対策委員会と連携して視察会を開催した

【視察先】

- ・女川町
…大きな津波被害を受けた女川町の復興まちづくりの取り組みを視察した。
- ・(株)鮮冷
…水産業を基幹産業として発展してきた女川町における水産業の復興への取り組みを視察した。
- ・日本製紙(株)石巻工場
…津波の直撃で甚大な被害を受けながら、半年で操業を再開、1年半後には完全復興を果たした同社石巻工場の取り組みを視察した。
- ・南三陸ホテル観洋
…自らの旅館も被害を受けながら、町民など震災避難者等の受け入れを行い、その後も震災経験を伝える語り部バスの運行など南三陸町の震災復興に大きな貢献を果たしている同社の取り組みを視察した。
- ・(株)マイヤ
…迅速・的確な避難誘導で一人の犠牲者も出さず、震災当日も可能な店舗では営業を継続するなど地域の暮らしを支えるライフラインとして大きな役割を果たした同社の取り組みを視察した。
- ・酔仙酒造(株)
…東日本大震災で壊滅的な被害を受けながら、同年10月には販売を再開、翌年の8月には大船渡市に新工場を完成させるなど周囲が驚くスピードで復興を成し遂げた同社の取り組みを視察した。

(5)「平昌 2018 オリンピック・パラリンピック競技大会」の事前合宿受入提案を通じた交流人口の拡大等に資する取り組み

■「東北地域における事前合宿の受入可能な競技施設一覧（Pre-games Training Camp Facilities）」の作成（平成29年2月）

東北6県および新潟県の協力のもと、各県内の市町村にて受け入れ可能な競技施設の一覧（主に全国大会以上の開催実績を持つ、21市町村の延べ56施設）を取りまとめた英文資料を作成し、国際機関へ情報提供した。

■世界トップチームに対する提案（平成29年2月17日、18日）

「2017 国際スキー連盟（FIS）主催 フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会」の会場にて、世界トップチームのヘッドコーチに対し、「平昌 2018 オリンピック・パラリンピック競技大会」（以下、平昌大会）の事前合宿地の受け入れに向けて、東北6県および新潟県に協力いただき、各県内の市町村にて受け入れ可能な競技施設一覧（主に全国大会以上の実績を持つ施設）をもとに提案した。

■外務省と連携した各国オリンピック委員会に対する提案（平成29年2月24日）

外務省の在外公館を通じて、冬季競技が盛んな約30カ国超のオリンピック委員会及び傘下の競技連盟に対して、平昌大会前の事前合宿の受け入れに向けて、東北6県および新潟県に協力いただき、各県内の市町村にて受け入れ可能な競技施設一覧（主に全国大会以上の実績を持つ施設）をもとに提案した。

地域懇談会活動

1. 青森地域懇談会（委員長・若井 敬一郎 副会長）

（1）地域フォーラムの開催

■東経連フォーラム in 青森（平成28年8月19日：青森市）

海輪会長、若井委員長はじめ、会員など128名の出席を得て開催した。

・演題：「どうなる今後の日本経済～東北の視点から～」

講師：（株）双日総合研究所チーフエコノミスト

吉崎達彦氏

■青森会員懇談会（青森市）

青森県内の会員など98名の出席を得て、東経連フォーラムと同時開催した。

（2）地区会員懇談会の開催

■津軽地区会員懇談会（平成28年6月15日：弘前市）

津軽地区の会員9名の出席を得て開催した。

2. 岩手地域懇談会（委員長・谷村 邦久 副会長）

（1）地域フォーラムの開催

■東経連フォーラム in 岩手（平成28年12月14日：盛岡市）

海輪会長、谷村委員長はじめ、会員など119名の出席を得て開催した。

・演題：「外国人目線でのインバウンド観光と地域のブランド作り」

講師：エクスポート・ジャパン(株)代表取締役

高岡謙二氏

■岩手会員懇談会（盛岡市）

岩手県内の会員など108名の出席を得て、東経連フォーラムと同時開催した。

（2）地区会員懇談会の開催

■岩手沿岸南部地区会員懇談会（平成28年4月13日：釜石市）

岩手沿岸南部地区の会員8名の出席を得て開催した。

3. 宮城地域懇談会（委員長・鎌田 宏 副会長）

（1）地区会員懇談会の開催

■石巻・気仙沼地区会員懇談会（平成28年7月13日：石巻市）

石巻・気仙沼地区の会員6名の出席を得て開催した。

4. 秋田地域懇談会（委員長・三浦 廣巳 副会長）

（1）地域フォーラムの開催

■東経連フォーラム in 秋田（平成28年10月25日：秋田市）

海輪会長、三浦委員長はじめ、会員など97名の出席を得て開催した。

・演題：「秋田の魅力を高める観光資源の開発と新たなビジネスチャンス」

講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授 篠原 靖氏

■秋田会員懇談会（秋田市）

秋田県内の会員など90名の出席を得て、東経連フォーラムと同時開催した。

（2）地区会員懇談会の開催

■能代・大館地区会員懇談会（平成28年6月22日：能代市）

能代・大館地区の会員8名の出席を得て開催した。

5. 山形地域懇談会（委員長・清野 伸昭 副会長）

（1）地域フォーラムの開催

■東経連フォーラム in 山形（平成28年10月12日：山形市）

海輪会長、清野委員長はじめ、会員など105名の出席を得て開催した。

・演題：「人口減少社会の到来と地域づくりの課題」

講師：明治大学政治経済学部教授 加藤 久和氏

■山形会員懇談会（山形市）

山形県内の会員など84名の出席を得て、東経連フォーラムと同時開催した。

（2）地区会員懇談会の開催

■鶴岡地区会員懇談会（平成28年5月12日：鶴岡市）

鶴岡地区の会員8名の出席を得て開催した。

■村山・最上地区会員懇談会（平成28年5月19日：天童市）

村山・最上地区の会員10名の出席を得て開催した。

6. 福島地域懇談会（委員長・渡邊 博美 副会長）

（1）地域フォーラムの開催

■地域活性化フォーラム in 福島（平成28年9月27日：郡山市）

海輪会長、渡邊委員長はじめ、会員など276名の出席を得て開催した。

・演題：「世界潮流と日本経済」

講師：（一財）日本総合研究所会長 寺島 実郎氏

■福島会員懇談会（福島市）

福島県内の会員など142名の出席を得て、地域活性化フォーラムと同時開催した。

(2) 地区会員懇談会の開催

■いわき地区会員懇談会（平成28年4月19日：いわき市）

いわき地区の会員9名の出席を得て開催した。

7. 新潟地域懇談会（委員長・福田 勝之 副会長）

(1) 地域フォーラムの開催

■東経連フォーラム in 新潟（平成28年7月26日：新潟市）

海輪会長、福田委員長はじめ、会員など128名の出席を得て開催した。

・演題：「地方創生の課題と成功する地域の条件」

講師：（一財）地域活性化センター理事長

椎 川 忍 氏

■新潟会員懇談会（新潟市）

新潟県内の会員など93名の出席を得て、東経連フォーラムと同時開催した。

(2) 地区会員懇談会の開催

■下越地区会員懇談会（平成28年9月2日：新発田市）

下越地区の会員7名の出席を得て開催した。

提言・調査研究活動

1. 企業経営に関するアンケート調査

(第77回調査：平成28年4月実施・5月公表、第78回：平成28年10月実施・11月公表)

東北地域の景気動向と企業経営の実態のほか、東日本大震災から5年が経過したことから、会員企業の生産・売上水準回復の障害となっていることや望ましい為替レートなどについて調査し、結果をとりまとめた。

2. 東北の景気動向調査（毎月公表）

各種経済指標の分析やヒアリングなどにより、東北の景気動向を調査し、公表した。

3. 北海道新幹線開業による事業への影響に関するアンケート調査(平成29年3月公表)

北海道経済連合会と共同で、北海道新幹線開業前後における東北・北海道間にビジネス交流や観光に関する企業・個人の動向および考え方の変化を把握し、今後の東北・北海道間での事業展開や経済交流の拡大に結びつけることを目的に、当会および北海道経済連合会の会員を対象に実施した。

政策要望活動

1. 当会主体の要望

(1) 平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算に関する東経連の要望

(平成28年6月16日)

平成28年度第二次補正予算および平成29年度政府予算の編成に向け、東北地域の重点事項3つ(①東北復興への施策の強化・継続、②加速器関連産業の東北への集積、③「新しい東北」の実現に向けた諸施策の推進)について要望活動を実施した。

【要望先】高木 毅 復興大臣、高村正彦 自由民主党副総裁、
稲田朋美 自由民主党政務調査会長、
ほか各省庁、東北7県選出国會議員など

2. 他団体との共同要望

(1) 国際リニアコライダー(ILC)の日本誘致に関する要望(平成28年9月7日)

東北復興のシンボルとして、また、ILCを核とした国際学術研究都市の形成や加速器関連産業の育成、集積などによる新しい東北づくりにとって重要なテーマとなるILCの日本・北上地域への誘致実現に向けて、「東北ILC推進協議会」との連携により政府など関係機関への要望活動を実施した。

【主 体】東北 ILC 推進協議会

【要望先】水落敏栄 文部科学副大臣

細田博之 自由民主党総務会長

河村建夫 リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟会長

塩谷 立 リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟幹事長

(2) 東北における社会資本整備の重点的推進に関する提言（平成28年7月29日）

フォーラム「がんばろう！東北」（平成28年7月21日、青森市開催）での採択を踏まえ、東北地域の復興に不可欠な社会資本の早期復旧・復興や、大震災を踏まえた今後の社会資本整備のあり方などについて要望活動を実施した。

【主 体】東北の社会資本整備を考える会

【要望先】細田博之 自由民主党幹事長代行、武藤 浩 国土交通省事務次官、財務省

(3) 三経連共同要望（平成28年10月21日）

「第21回三経連経済懇談会」（平成28年9月20日～21日、金沢市開催）での決議を踏まえ、3地域の共通項目5つ（①東日本大震災被災地域の復興・創生の実現に向けた支援等の強力な展開、②産業・生活に不可欠なエネルギーの安定供給と低炭素社会実現に向けた対策の推進、③地域産業の競争力強化や定住人口の増加など地域力の向上に向けた支援の強化、④観光産業の更なる発展に向けた基盤整備等の推進、⑤地域社会・経済の自立的発展と強靱な地域づくりに向けた戦略的な社会資本整備の促進）について要望活動を実施した。

【主 体】北海道経済連合会、北陸経済連合会、当会

【要望先】石井啓一 国土交通大臣、橘 慶一郎 復興副大臣、
望月義夫 自由民主党幹事長代理、岡田直樹 自由民主党幹事長代理、
井上義久 公明党幹事長、漆原良夫 公明党中央幹事会会長、
山本幸三 内閣府特命担当大臣 他

(4) 日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望（平成28年9月23日）

「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム」（平成28年9月1日、新潟市開催）での決議を踏まえ、日本海沿岸東北自動車道の早期実現について要望した。

【主 体】日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム実行委員会

【要望先】下村博文 自由民主党幹事長代行

田中良生 国土交通省副大臣

ほか日沿道沿線選出の国会議員等

交流活動

1. 国際交流活動

(1) 「日中経済協力会議」への参加（平成28年11月21日～22日：富山県富山市）

中国東北地方（黒龍江省・遼寧省・吉林省・内蒙古自治区の3省1自治区）と日本との経済交流を目的に開催された「2016年日中経済協力会議-於富山」に参加した。当会は共催団体として、向田副会長他が参加した。

2. 国内交流活動

(1) 第49回東北地方経済懇談会（経団連との懇談会）

（平成28年9月8日～9日：大熊町・双葉町・山元町・仙台市）

当会から海輪会長をはじめ会員約250名、経団連からは榊原会長、岩沙審議員会議長、13名の副会長等の出席を得て開催した。

今回は、東日本大震災からの復興の状況を視察するため、懇談会に先立ち、前日から「東京電力福島第一原子力発電所」「農業生産法人 GRA」「東北大学 東北メディカル・メガバンク機構」を視察し、懇談会では「東北の復興・創生の加速を～GDP600兆円経済の実現に向けて」を基本テーマに意見交換を行った。

また、当会創立50周年を記念して、今村雅弘復興大臣から祝辞をいただいた。

【個別テーマと発表者】

- 大震災からの復興の加速化に向けて
東経連副会長 笠原賢二氏
(福島県経営者協会連合会会長)
- 風評被害の払拭に向けて
東経連副会長 渡邊博美氏
(福島県商工会議所連合会会長)
(コメント) (一社)日本経済団体連合会審議員会議長 岩沙弘道氏
(三井不動産(株)会長)
(一社)日本経済団体連合会副会長 飯島彰己氏
(三井物産(株)会長)
- ILC等、加速器関連プロジェクトの実現に向けて
東経連常任政策議員 瀬川隆盛氏
(株)日本政策投資銀行東北支店長)
- 海外との経済交流拡大に向けて
東経連副会長 一力雅彦氏
(株)河北新報社社主・社長)
(コメント) (一社)日本経済団体連合会副会長 友野宏氏
(新日鐵住金(株)相談役)
(一社)日本経済団体連合会副会長 工藤泰三氏
(日本郵船(株)会長)
(一社)日本経済団体連合会副会長 十倉雅和氏
(住友化学(株)社長)
(一社)日本経済団体連合会副会長 飯島彰己氏
(三井物産(株)会長)
- 総括
(一社)日本経済団体連合会副会長 古賀信行氏
(野村證券(株)会長)

(2) 第21回三経連(北海道、北陸、東北)経済懇談会

(平成28年9月20日～21日:金沢市)

当会から海輪会長はじめ当会役員22名、道経連から高橋会長はじめ11名、北経連から久和会長はじめ36名の出席を得て開催した。

「地域の個性を活かした魅力あふれる地方の実現」を基本テーマに意見交換を行った。

【個別テーマと発表者】

- 交通ネットワークの整備促進、広域観光の推進
北陸経済連合会副会長 深山彬氏
(株)北國銀行相談役)

- 地域力向上、産業振興
北陸経済連合会副会長
(北陸コカ・コーラボトリング(株)社長) 稲垣晴彦氏
- 広域観光推進の具体的内容
(質問) 北海道経済連合会副会長
(株)アミノアップ化学会長 小砂憲一氏
 - (回答) 北陸経済連合会副会長
(津田駒工業(株)会長) 菱沼捷二氏
- 大震災からの復興・創生の実現に向けて
東経連副会長 向田吉広氏
- 海外との経済交流拡大に向けて
東経連副会長 佐藤潤氏
(株)ホテル佐勘代表取締役会長
- 風評被害の払拭に向けて
(質問) 北陸経済連合会副会長 伊藤忠昭氏
(株)福井銀行会長
 - (回答) 東経連政策会議副議長 矢萩保雄氏
(株)ユアテック会長
- 農業の生産性向上に向けた取り組み
北海道経済連合会副会長 田中義克氏
(トヨタ自動車北海道(株)社長)
- 地方創生に向けた社会資本の充実
北海道経済連合会常任理事 松嶋一重氏
(株)日本政策投資銀行北海道支店長
- 新産業の創出に向けた取り組み
(質問) 東経連監事 佐久間洋氏
(東北インテリジェント通信(株)社長)
 - (回答) 北海道経済連合会副会長 高井修氏
(株)伊藤組会長

(3) 顧問会(東北に関わりの深い有識者との懇談会)(平成28年11月9日:東京都)

海輪会長はじめ当会役員8名及び顧問6名の出席を得て開催した。

事務局より、当会の事業内容等について報告し、その後、東経連新ビジョン等に関する意見交換を行った。

(4) 第17回参与会(東北主要大学長との懇談会)(平成29年1月19日:仙台市)

海輪会長はじめ当会役員22名および参与12名(代理出席含む)の出席を得て開催した。

「日本再興戦略を踏まえた取り組みや課題等について～イノベーション・チャレンジ精神に溢れる人材の創出を目指して～」をテーマに、最近の産学連携及び卒業生の地元定着に向けた施策、加速器関連プロジェクトなど、東経連及び各大学の取り組みについて報告し、意見交換を行った。

(5) 東北7県国会議員との懇談会（平成28年12月1日：東京都）

国会議員約50名（代理を含む）及び海輪会長はじめ当会役員・会員140名の出席を得て開催した。国の施策や東北地域を取り巻く課題などについて、意見交換を行った。

(6) 第18回国の地方行政機関との懇談会（平成29年3月1日：仙台市）

当会から海輪会長はじめ副会長、常任政策議員など36名が、国の地方行政機関からは岡野直樹東北総合通信局長、中田悟東北財務局長、松尾元東北農政局長、田川和幸東北経済産業局長、川瀧弘之東北地方整備局長、中神陽一北陸地方整備局長、尾関良夫東北運輸局長、江角直樹北陸信越運輸局長、山下容弘岩手復興局長、武政功宮城復興局長、木幡浩福島復興局長の11名の出席を得て開催した。

「平成29年度の重点的な取り組み～国と共創する東経連新ビジョン～」をテーマに、東経連及び各機関の取り組みについて報告し、当会が特に重要視している①人口の社会減対策、②農産品及び地場産業の育成、③観光振興について意見交換を行った。

広報・情報提供活動

1. 広報活動

(1) 報道機関への情報提供活動（随時）

「東経連情報」（第1号～第52号）により、東北地方経済懇談会や三経連経済懇談会、国の地方行政機関との懇談会など各種会合の開催や、政策要望活動の実施などについて情報提供を行うとともに、取材対応を行った。

(2) 記者会見

■会長交代に係わる記者会見（平成28年6月8日：仙台市）

会長交代に伴い、高橋会長、海輪新会長が共同記者会見を行った。

■第49回東北地方経済懇談会に係わる記者会見（平成28年9月9日：仙台市）

海輪会長、榊原経団連会長が共同記者会見を行った。

■東経連新ビジョンに係わる記者会見（平成29年1月25日：仙台市）

海輪会長、向田副会長が共同記者会見を行った。

(3) その他

時宜に応じて、当会からのコメントを発表した。この他、各紙・誌への寄稿などに応じた。

2. 出版・情報提供活動

(1) 月報「東経連」（毎月発行）

会員を中心に、主要な事業活動などの活動概況についてとりまとめ、情報提供した。

(2) ホームページ更新・管理（随時更新）

当会の概要やプレスリリース、会員企業の紹介などについて情報発信した。

(3) メールマガジン「東経連インフォ・ボックス」（随時発信）

メールマガジン登録者を対象に、東北の景気動向などのプレスリリース、講演会の案内などについて情報発信した。

事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年6月

一般社団法人東北経済連合会